

水戸探訪

水戸市立第五中学校

1 本事業への思い（ねらい）

- 水戸の魅力やすばらしさを追求する。
- 班別行動でのルールを身に付ける。
- 自己の生き方を考える機会とする。

2 活動の実際

(1) 対象 第1学年（4クラス）・124名

(2) 計画

- | | |
|---------|---|
| 1 期 日 | 令和6年11月15日（金） 雨天実施 |
| 2 場 所 | 水戸市内の公共施設、名勝地（県立歴史館、偕楽園、千波湖 など）
※各班の計画に従って活動します。 |
| 3 日 程 | 8:10 生徒集合（堀原運動公園）
8:30 水戸市内班別活動開始 ※各班3か所程度を見学予定
15:30 生徒帰校 活動報告後、帰りの会
16:10 生徒下校 |
| 4 交通機関 | 徒歩または公共交通機関（路線バス） |
| 5 費 用 | 交通費、見学料などは自己負担になります。
※各自の計画が違うので、負担額が変わります。 |
| 6 準 備 物 | |
| (1) 服 装 | 制服、五中バッグ |
| (2) 持ち物 | 筆記用具、計画表、お弁当、水筒、必要経費、身分証、雨具
※時計やカメラなどが必要な場合は、班で1つ用意する。
※身分証がないと、各施設で割引が受けられません。 |

7 そ の 他

- (1) 往復の安全、公共施設でのマナー、インタビュー時の言葉遣いなど事前指導を十分に行います。
- (2) 目的以外の場所（書店、コンビニなど）への立ち入りは絶対にしない約束になっています。
また、不要なもの（スマートフォン、お菓子など）を持たないよう、ご家庭でもご確認をお願いします。
- (3) 引率教員は、バス（バス停）、見学場所への巡回を行い、生徒の様子を把握します。
- (4) 関係施設等への事前打ち合わせを行い、生徒がスムーズに活動できるようにします。

(3) 体験先の様子
《茨城県立美術館》



《偕楽園》



《千波湖》



(4) 振り返りの時間

【まとめ発表会の様子】



3 成果と課題

計画をじっくりと練る時間がなかったために、生徒は各施設の見学が中心となってしまった。施設担当者との打ち合わせをより綿密にすることで、体験的な活動もできたと思う。また、活動の初めにそれぞれの生徒が立てたテーマ（水戸の文化・産業・観光など）にどれだけ迫れる活動だったのかが懸念される。

生徒は、自分たちで訪問場所を決め、行動計画を立てて実行する活動に意欲的に取り組んでいた。「自分たちの力で、自分たちの考えたとおりに実行する」ことが、生徒たちの力になったと考える。また、「バスに初めて乗りました」という生徒も多く、今後の生活にも生かせる活動となった。